

# Lecture 授業No.18 教科書P.19～

T.Q.「パルティアとササン朝の違いとは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校  
地歴公民科教諭

# 直前予習 T. A. キーワード確認

## 教科書 P.19・20

T.Q.「パルティアとササン朝の違いとは？」

1. **ヘレニズム**
2. **ゾロアスター教**
3. **伝統**
4. **シャープール1世**
5. **ホスロー1世**

クリックで全て



# 今日の授業ラインナップ。

1. アケメネス朝以来のイラン人国家パルティア
2. パルティアを滅ぼしたササン朝ペルシア
3. パルティアとササン朝それぞれの特色

## 4 イラン(ペルシア)

cf. アケメネス朝ペルシア滅亡(B.C.330)後、  
約100年間、ギリシア人がペルシアを支配 ※1

### ① パルティア王国

- (1) B.C.3C、イラン人の遊牧民が  
ギリシア人国家のセレウコス朝シリアから独立
- (2) シルク＝ロードの東西交易で栄える  
→A.D.3C、同じイラン人のササン朝により滅亡

### ② ササン朝ペルシア 都\_\_クテシフォン

- (1) シャープール1世 \_\_ 3C、全盛 その1  
西:ローマ皇帝ヴァレリアヌスを捕らえる ※2  
東:インドのクシャーナ朝を滅ぼす

西：ローマ皇帝ヴァレリアヌスを捕らえる

東：インドのクシャーナ朝を滅ぼす

————— ここから

(2) **ホスロー1世** \_\_ 6C、全盛 その2

西：東ローマと戦う

T.Q.「パルティアとササン朝の

違いとは？」教科書P.19～

東：遊牧国家のエフタルを滅ぼす

(3) ペルシア文化

cf. パルティアではまだヘレニズム(「ギリシア風」)的 [※3](#)

1 ササン朝は伝統文化に戻る

∴ **ゾロアスター教**を国教化 → 経典『**アヴェスター**』成立

2 **マニ教**成立国外追放

[※4](#)

…ゾロアスター + 仏・キリスト教

3 **ペルシア美術・工芸**

[※T. A. まとめスライドへ](#)

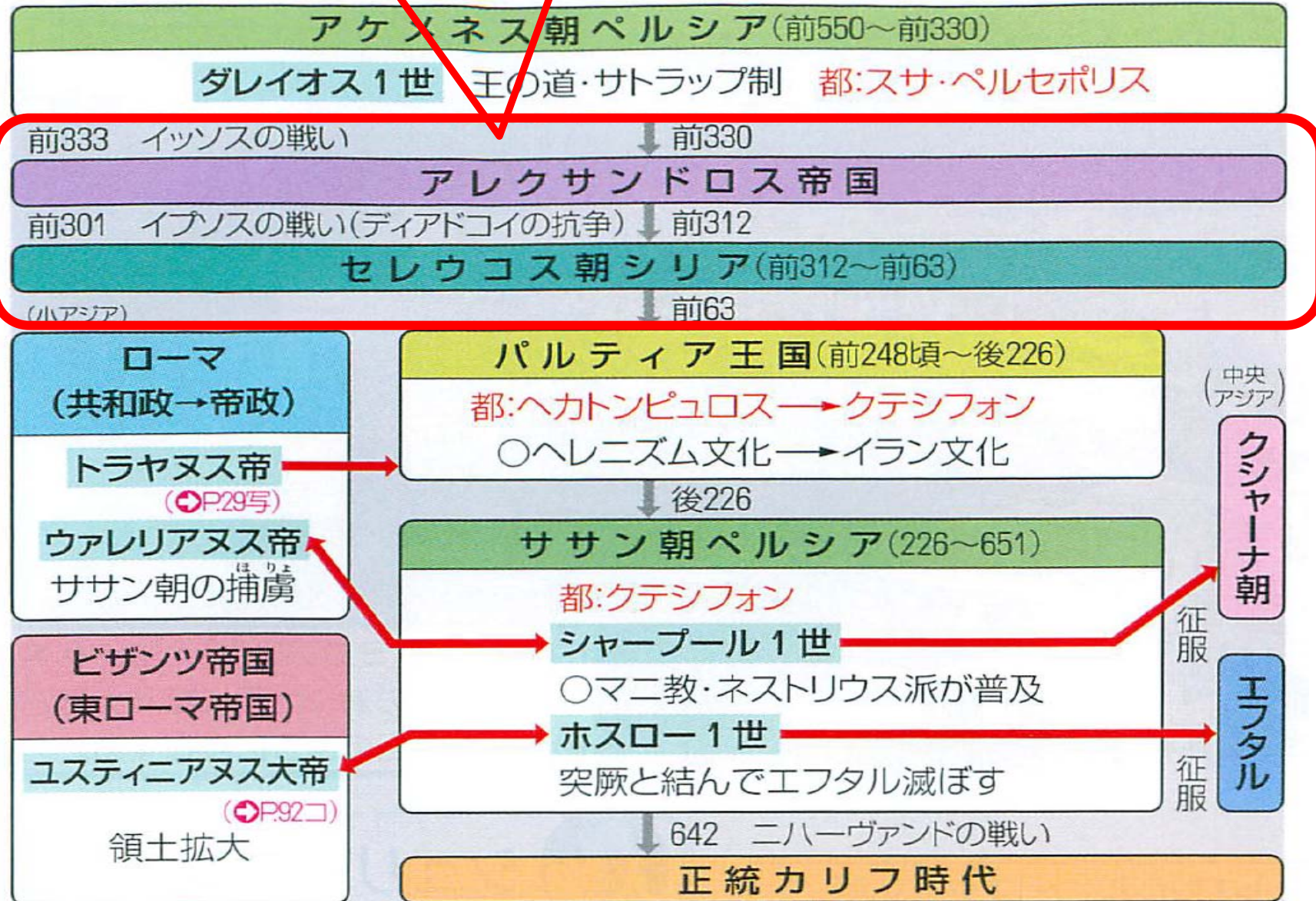
東へ：中国・朝鮮・日本の文化に影響 [※5](#)

最後のスライドはここまで！

クリックで、**イラン(ペルシア)人が、ギリシア人の支配下にあった時代** に注目

※1

## 4 古代イランの変遷





# シャープール1世 (位241頃~272頃)

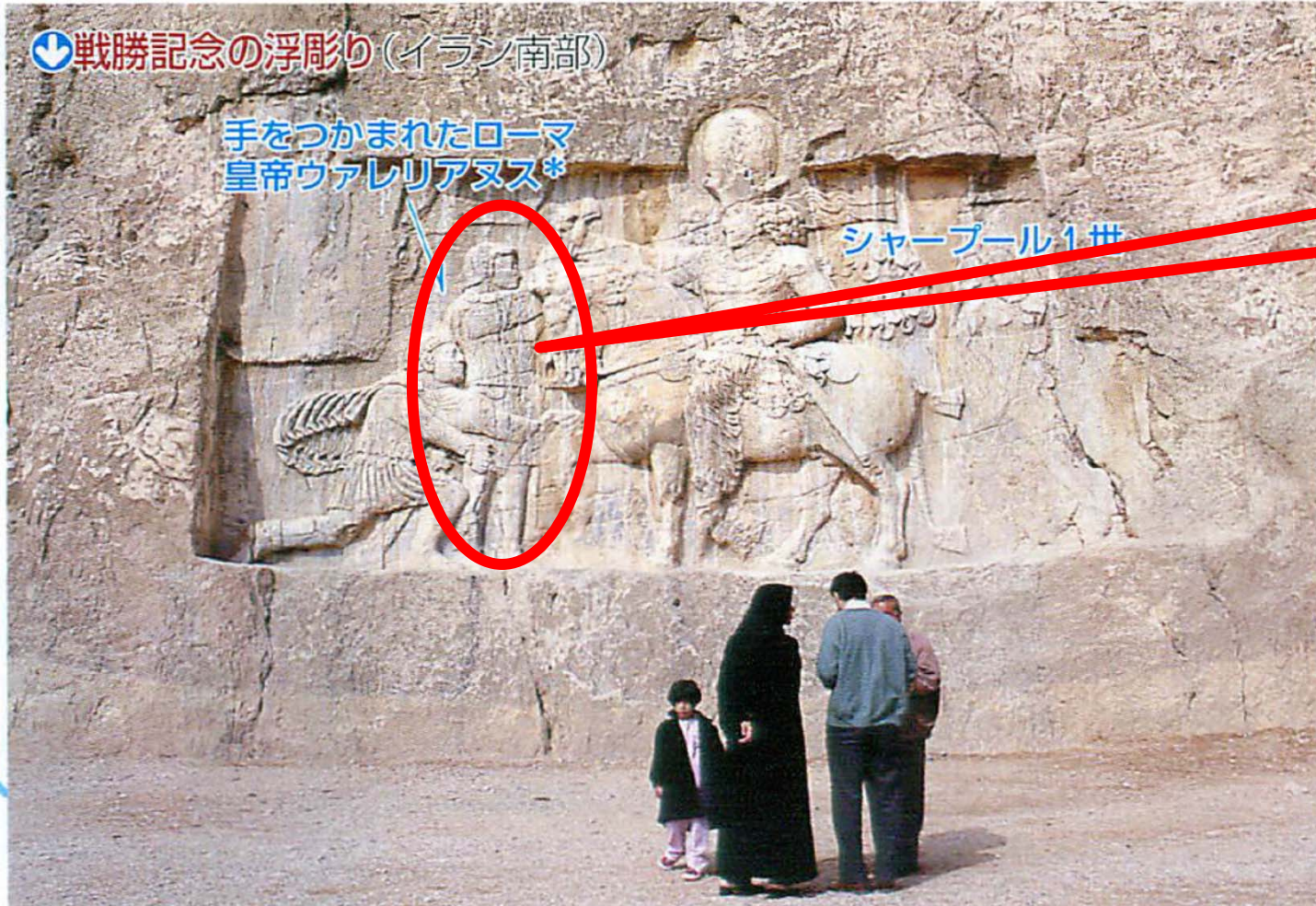
と  
—ローマ皇帝を捕らえた王—

※2

ササン朝第2代の王シャープール(「王の子の意)1世は、260年のエデッサの戦いでローマ皇帝ヴァレリアヌスを一騎打ちの末捕虜にした。この際、ローマ兵士捕虜が造営したローマ風の橋や宮殿が今もイランに残っている。

\*ひざまづいている人物がヴァレリアヌスであるとする説もある

クリックで、  
捕らえられた



ローマ皇帝  
ヴァレリアヌス



ΕΤΙΦΑΝΟΥΣ  
ΦΙΛΕΛΛΗΝΟΣ



ΒΑΣΙΛΕΥΣ  
ΒΑΣΙΛΕΩΝ

ΑΡΣΑΚΟΥ  
ΕΥΕΡΓΕΤΟΥ  
ΑΙΤ

ΔΙΚΑΙΟΥ

クリックで、

「パルティアのコインに刻まれたギリシア文字」



# クリックで、ゾロアスター教徒の「鳥葬」と現在の信者数



## ←ゾロアスター教(拜火教)

**開祖** ゾロアスター(前7～前6世紀)

**教典** アヴェスター

**教義** 善(光明)の神アフラ = マズダと悪(暗黒)の神アーリマンの二元論。火を正義の象徴とする。

**儀式** 祭司はマギ(magicの語源)とよばれ、息で聖火が汚れぬようマスクをたらしアヴェスターの聖句を唱える。祈りは炎をとおして主神アフラ = マズダに捧げられる。

**葬儀** 大地を汚さぬよう鳥葬。

**信者** 現在、イラン・インドなどに約14万人。

# 📢 ペルシア文化の世界的影響

※5

ササン朝美術の  
すぐ優れたデザイン  
シルク=ロード  
や技術は絹の道  
を経て東西諸国  
に伝えられ、模  
倣された。日本  
の法隆寺や正倉  
院にもその例が  
見られる。



クリック①・②: 中国から日本へ

## Lecture 授業No.18

### T.Q.「パルティアとササン朝の違いとは？」

パルティアは遊牧民のイラン人がセレウコス朝から独立して建てた国で、シルク=ロードで東西交易を行って繁栄したヘレニズム的な文化の国。ササン朝は農耕民のイラン人による建国で、シャープール1世とホスロー1世の2回全盛期だった。イランの伝統文化に戻り、ゾロアスター教が国教化され、融合宗教のマニ教が生まれた(追放される)。ササン朝の美術・工芸は、遠く日本にも影響を与えた。